

004 TICA

具合が悪くて長引きそうだったので、病院に行ったついでにブックオフに行き目立つ所に置いてある本を適当につかんだ。

…当たらないものです。



著作	著者	あらすじ
ひとでなし	澤田ふじ子	江戸時代のリストラ問題を描く表題作ほか、公事宿(訴訟人専用旅籠)で起きる事件の数々を居候・田村菊太郎が解決していく時代小説シリーズ。京のおすまし言葉より江戸言葉の方が好き。
水曜の朝、 午前三時	蓮見圭一	45歳の若さで逝った翻訳家で詩人の四条直美が、娘のために遺した4巻のテープ。そこに語られていたのは、大阪万博のホステスとして働いていた23歳の直美と、外交官として将来を嘱望される理想の恋人・臼井礼との燃えるような恋物語だった。「もし、あのとき、あのひととの人生を選んでいたら...」。失われたものはあまりにも大きい。愛のせつなさど喜びが心にしみるラブストーリー。 恋愛ものとは知らずに読み始め簡単に挫折。
聞き屋与平—江戸夜咄草	宇江佐真理	江戸・両国。薬種屋の隠居・与平は、日が暮れると別の顔になる。町行く人々が抱える人生の悲喜こもごもをひたすら受けとめる「聞き屋」になるのだ。おもわず語ってしまう胸のうち。人の心の機微を描く連作時代小説。 ただ聞くだけで解決策を提示しない。カウンセリングの先駆者。
ナイチンゲールの沈黙	海堂 尊	『田口・白鳥シリーズ』第2作目。今度の舞台は小児科病棟。病棟一の歌唱力を持つ看護師・浜田小夜の担当患者は、眼の癌—網膜芽腫の子供たち。眼球摘出をせざるをえない彼らに心を痛めた小夜は、患児のメンタルケアを不定愁訴外来担当の田口に依頼し、小児愚痴外来が始まった。 パチスタの続編。ドラマでの田口の伊藤敦史も白鳥の仲村トオルも合わない。ついでに言えば、血染めの白衣を着て髪をなびかせる速水が西島秀俊ってのもおとなしすぎる。まるで話が違うドラマと比べても意味ないし、第一見ちゃいないんだけどね。

<p>ジェネラル ルージュの凱旋</p>	<p>〃</p>	<p>『田口・白鳥シリーズ』第3作目。ウィキペディアによると『ナイチンゲールの沈黙』から分離して生まれた作品とのこと。『ナイチンゲールの沈黙』が上下巻になるのを編集部が許さず、編集者の「二つに分けよう」という提案があったため。内容は『ナイチンゲールの沈黙』と時系列は同一で、『ナイチンゲールの沈黙』の事件や出来事と並行して起きているストーリーを展開している。 読後にこの記事を読んで納得。確かにナイチンゲールと同じにすると余計にわけがわからなくなる。</p>
<p>さみしさの 周波数</p>	<p>乙一</p>	<p>「おまえら、いつか結婚するぜ」——未来を「予報」されてしまった僕と彼女は、それきり視線を合わせられなくなった。そして数年後、再会した僕らは？胸にしみる乙一流ファンタジー！再読。乙一は寡作でつまらない。</p>
<p>小林賢太郎 戯曲集 homeFLATnews</p>	<p>小林賢太郎</p>	<p>一度観たら必ずハマる、鋭敏な言葉、独特なリズム、予測不能な世界。どこにもない新しい「笑い」を緻密に構築する最注目のコンビ、ラーメンズ初めての戯曲集。再読</p>
<p>死体を買う男</p>	<p>歌野昌午</p>	<p>思うように作品が書けず、苦悩の末に自殺を図ろうとした江戸川乱歩が自殺を阻まれる。救ってくれた命の恩人を慕うが、彼の奇癖を知り敬遠するようになり、やがて萩原朔太郎の詩の一篇「天上縊死」になぞらえたように彼は自殺をしてしまう。しかし、一向に遺体はあがらず、不審な点もいくつか見付き、探偵趣味を持つ朔太郎と共に事件を調べ始めてゆく。 萩原朔太郎と言われるとつい買ってしまふ。僕の悪い癖。</p>
<p>楽園—上下巻—</p>	<p>宮部みゆき</p>	<p>『模倣犯』で大活躍したフリーライター前畑滋子が再び登場。滋子のもとに、萩谷敏子という女性が現れ、事故で死んだ12歳の息子が実は予知能力を持つ超能力者だったかも知れないので、真偽を調べて欲しいという依頼がくる。彼は16年前に殺された少女の遺体が発見される前に、自分が描いた「絵」で予言したという。敏子の亡き息子への強い思いを感じた滋子は調査に乗り出す。 主役が「模倣犯」で大活躍した人とは知らずに読み始めた。「模倣犯」は中居くんの映画化があったから眉唾で読んでしまったので、機会があればもう一度読み直したい。</p>

金のゆりかご	北川歩実	<p>タクシー運転手の野上雄貴は、GCS 幼児教育センターから入社要請を受け、不審を抱く。GCS が発明した「金のゆりかご」と呼ばれる機械で育てられ、一時は天才少年ともてはやされたが、能力の限界を露呈し見捨てられた自分。真意を探るうち、子供が次々と精神に錯乱をきたした事件が浮かび上がる。やがて、ある母親が失踪、殺人が…。先端科学に切り込む新感覚ミステリー。</p> <p>これがどんでん返しだとでもいうように最後になってだだだと変わる。それが会話で済ませているのでわかりにくいし、それぞれの感情に共感が持てない。</p>
贄門島 ～上下巻～	内田康夫	<p>21年前、ボートの操舵ミスで房総の海に投げ出された浅見光彦の父は、美瀬島の漁船に助けられるが、生死の境をさまよう床の中で奇妙な声を聞いた。「こんなにつづけて何人も送ることはない」「そうだな、来年に回すか」。父は、その翌年亡くなった。父の死の謎を解くべく島を訪れた浅見の前で、知人の水死体が相次いで発見される…。</p> <p>あとがきに著者が、ストーリーを最後まで決めないで書き出すと書いてあった。人からは信じられないと言われるらしいが私も強く同意。信じられない！</p>
掏摸	中村文則	<p>狙うのは裕福な者だけ。盗った金にも全く執着しない。掏摸で生活している「僕」に巨大悪の木崎は人生の選択肢を決めるかのように揺さぶりをかける。ある貴族が、一人の少年を使用人にした。貴族は少年の人生を自ら決めようと、「運命のノート」を書く。少年は偶然のように恋し、愛人を作るが、自身の死に方までがノートにあるままだった。</p> <p>純文学で「僕」が主役のところは村上春樹っぽいけど、どストレートだから読みやすい。</p>
無痛	久坂部羊	<p>神戸の住宅地での一家四人殺害事件。惨たらしい現場から犯人の人格障害の疑いは濃厚だった。凶器のハンマー、Sサイズの帽子、LLの靴跡他、遺留品は多かったが、警察は犯人像を絞れない。八カ月後、精神障害児童施設の十四歳の少女が自分が犯人だと告白した、が…。外見だけで症状が完璧にわかる驚異の医師・為頼が連続殺人鬼を追いつめる。</p> <p>14才の少女の顛末には唾然…。怖い思いをして読んだのに。。</p>

あくむ	井上夢人	<p>夢なのか、現実なのか、すべてがあいまいなまま“恐怖”という感覚に集約されてゆく。覚めやらぬ“あくむ”そのままの5つのホラーストーリー。</p> <p>ネタが割れてる話は我慢しても生理的に気持ち悪い話があって読み続けられなかった。</p>
骸の爪	道尾秀介	<p>ホラー作家の道尾は、取材のために訪れた瑞祥房で、口を開けて笑う千手観音と頭から血を流す仏像を見た。話を聞いた真備は、早速瑞祥房へ向かう。20年の時を超え彷徨う死者の怨念に真備が挑む。</p> <p>シリーズ最初の「背の眼」より面白かった。</p>
削除ボーイズ 0326	方波見大志	<p>主人公直都が手に入れたのは、出来事を削除できる装置だった！疾走感と力強さに満ちた、新しいリアル・エンターテインメント。</p> <p>主人公が小学生っていうのに違和感を感じていたらポプラ社大賞で2000万を獲った作品だった。</p>
ミステリー ドラマ	藤ダリオ	<p>テレビドラマ・オンエア中に発見された監督の死体。探偵役の主演俳優は密室のスタジオから誘拐。犯人からの要求はただ一つ。このドラマを破綻なく演じきれ。犯人の目的は一体何なのか。見守る日本中の視聴者の前で、恐怖のオンエアが続けられる…。</p> <p>登場人物も話も昭和の匂い。お金返してください。</p>
向日葵の 咲かない道	道尾秀介	<p>夏休みを迎える終業式の日。先生に頼まれ、欠席した級友の家を訪れた。S君は首を吊って死んでいた。だがその衝撃もつかの間、彼の死体は忽然と消えてしまう。一週間後、S君はあるものに姿を変えて現れた。「僕は殺されたんだ」と訴えながら。僕は妹のミカと、彼の無念を晴らすため、事件を追いはじめた。あなたの目の前に広がる、もう一つの夏休み。</p> <p>動物虐待が出てくるのでこれは読まないと決めていたが、あまりに評判がよくて負けて買ってしまった。問題の箇所は飛ばせばいいと思ったのが甘かった。これほど虐待の言葉が多いとは。。そのうえ、Sくんが姿を変えたのが蜘蛛でしまいには食べちゃうし、もう泣きキウでした。</p>

シートン (探偵) 動物記	柳 広司	“悪魔”と恐れられる巨大な狼との知恵比べの最中、のどを食い破られた死体に遭遇する「カランポーの悪魔」。老カラスの宝物からダイヤを見つけたことで奇想天外な盗難事件に巻き込まれる「銀の星」等、全七編収録。自然観察者にして『動物記』の作者シートン氏が、動物たちを巡って起こるさまざまな難事件に挑む連作短編ミステリー。
気分は名探偵 犯人当てアンソ ロジー	我孫子武丸 有栖川有栖 他	『夕刊フジ』に犯人当て懸賞ミステリーとしてリレー連載されたものがついに一冊に。探偵役はあなた。本格推理のリーダーたちが、読者に突きつける6つの難事件に挑戦しよう。謎の著者座談会「わたしは誰でしょう？」も収録。
1 Q 8 4 BOOK 3	村上春樹	DGチョイス
汝の名	明野照葉	男は使い捨て、ひきこもりの妹さえ利用する——あらゆる手段で、人生の逆転を賭けて「勝ち組」を目指す、麻生陶子33歳！現代社会を生き抜く女たちの「戦い」と「狂気」を描くサスペンス。
幽霊人命救助隊	高野和明	自殺者の命を救え！浮かばれない霊たちが、天国行きと引き替えに人名救助隊を結成、地上に舞い降りた。救うべきは、100人の命…。怒涛の人命救助エンタテインメント。 あまりにイメージが違うので『13階段』の作家だと知らずに読んだ。
片目の猿	道尾秀介	盗聴が専門の私立探偵・三梨幸一郎は、ライバル社にデザイン盗用の証拠を探すうち、殺人の現場を聞いてしまう。 道尾秀介のコメディ (だと私は思ってる)。今回の「驚き」のネタは事件とは関係のないところであまりに唐突…。これで驚いただろうと言われても、だ、だ、だから？って汗をかいてしまう。

森見登美彦の小説『四畳半神話大系』をアニメ化した主人公のイメージは賢太郎。似てるっちゃー似てるし、誰でもいいっちゃー誰でもいい。

